

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 事業名
420 **生活科学検査事務（食品、家庭用品、飲料水等の検査を実施）**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		衛生研究所費	
	大事業		衛生研究所事業	
事項		生活科学検査事務		

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	2	衛生研究所機能の充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	S 5 2 ~		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	衛生研究所	森野 吉晴 (453-0055)	
関連課	生活保健課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」	「基盤力を磨く」	「観光力を磨く」	
コミュニティの充実	メリハリある都市づくりの充実	史跡和歌山城の充実	該当せず
市民の健康環境の充実	道路・公共交通網の充実	海を生かした観光シフトの充実	
総合的な子育て環境の充実	総合防災体制の充実	美味しい和歌山市イメージの充実	
その他	その他	その他	

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
事業概要	<p>食品、家庭用品、飲料水等の検査を実施し、市民の健康と安全を守る。平成18年のポジティブリスト制の施行に伴い、増加傾向にある食品中の残留農薬基準違反事例に対応するため、新規農薬標準品を確保し分析法を確立する。また、市民の日常の食事を介し農薬摂取量を把握するため、厚生労働省が実施する食品残留農薬等一日摂取量調査に参加する。</p> <p>和歌山市食品衛生監視指導計画、食中毒（疑）に基づく行政依頼と一般の依頼による検査を行う。食品検査：生鮮野菜、果実及び冷凍野菜の残留農薬検査、畜水産物中の残留動物用医薬品検査、菓子やそうざい等加工食品の規格基準・添加物検査を行う。残留農薬一日摂取量調査：厚生労働省の委託を受け、国民が日常の食事を介してどの程度の量の農薬を摂取しているかを把握する調査に参加する。飲料水等検査：井戸水、簡易専用水道、船舶水、浴場水およびプール水等の検査を行う。家庭用品検査：乳幼児用衣類の検査を行う。調査研究：残留農薬および動物用医薬品の一斉分析法を研究する。</p>				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	食品・動物用医薬品・家庭用品・飲料水・用水検査とその調査研究	食品・動物用医薬品・家庭用品・飲料水・用水検査とその調査研究	食品・動物用医薬品・家庭用品・飲料水・用水検査とその調査研究		

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	20,191	70,530	12,883	12,711	12,604	13,098	9,001		9,001	
伸び率 (%)	-	-	-36.2%		-2.2%		-28.6%		0.0%	
人件費	常勤職員	31,494	29,890	29,890	29,282	29,282	25,795	25,795	25,795	
	非常勤職員	1,367	1,367	1,367	1,817	1,817	2,019	2,019	2,019	
小計	32,861	31,257	31,257	31,099	31,099	27,814	27,814	27,814	27,814	
国庫支出金	2,950	50,725	2,950	2,062	2,062	3,023	2,062		2,062	
県支出金										
市債										
その他	9,129	6,666	7,449	5,437	7,181	5,534	7,181		7,181	
一般財源(税等)	8,112	13,139	2,484	5,212	3,361	4,541	-242		-242	
所要人数	常勤職員	4.11	3.9	3.9	3.88	3.88	3.42	3.88	3.88	
	非常勤職員	0.67	0.67	0.67	0.72	0.72	0.8	0.72	0.72	

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	検査実施項目数（生活科学検査）				年度目標値				
					実績値	28,217	31,445	23,852	
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	衛生研究所における検査可能項目数（生活科学検査）				年度目標値	328	332	336	340
					実績値	328	332	336	
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
					年度目標値				
				実績値					
単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	食品中の食品添加物や野菜、果実等の残留農薬が問題となっている中、分析可能項目数を増加させ検査を行うことで、市民の食の安全に貢献する。飲料水等の検査を行い市民が飲用している水の状態を知らせる。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	